

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

令和2年10月22日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

令和2年10月22日（木）午前9時30分～ 本庁舎4階大委員会室

2 出席者

付議課：産業振興課 金井課長、佐山主査補
 関係課：秘書課 内藤主査、小林主事

3 件名

市制施行20周年に併せた北総線副駅名の募集について

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

・クラウドファンディングでは、どの程度寄付金を集められると見込んでいるか。
 →今回実施予定の実施確約報酬型は、目標額達成の成否にかかわらず実施が確定しているためもともと寄付が集まりにくい。市外住民からの寄付については、ふるさと納税と同様に返礼品等の対応ができることから、ふるさと納税の希望者をクラウドファンディングに取り込んでいきたい。

・クラウドファンディングにより資金調達が目標額に達しなかった場合、一般財源の支出には反対である。

・掲出料はかかるのか。
 →北総鉄道㈱と調整中である。

・クラウドファンディングで掲出料も寄付を受けるのか。
 →看板工事費用のみを予定している。

・ランニングコストの負担が心配である。
 (指示)

・北総鉄道㈱と掲出料等の必要経費を精査した上で、再度付議すること。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 市民環境経済部産業振興課

件名	市制施行20周年に併せた北総線副駅名の募集について							
現状・課題	<p>白井市周辺には梨を主力産品として掲げる市が複数存在し、特に「市川市」、「船橋市」、「鎌ヶ谷市」については一定の収穫量を誇る産地であり、白井市同様に北総線沿線駅を持つ市である。</p> <p>また、しろいの梨の一般消費者への知名度は白井市から離れるほど低くなり、平成30年度に行なった調査では、白井市が梨の生産量が多いことを知っている人の割合が柏市や鎌ヶ谷市、印西市等の近隣市外住民で約50%となっており、市名も含めて知名度が低い状況である。</p>							
付議事案	目的	白井市周辺で北総線沿線駅を持つ梨を主力産品として掲げる他市との差別化を図り、白井市の市名と併せて白井市が梨の産地であることをPRし、市の農業振興に寄与する。						
	対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 市制施行20周年に併せて北総線(白井駅・西白井駅)構内に「白井市＝梨」を連想させる副駅名を設置する。 北総線(白井駅・西白井駅)の副駅名を市民から募集する。 駅構内看板の設置等の費用はクラウドファンディングを利用する。 						
論点(決定を要する事項)	<ul style="list-style-type: none"> 副駅名の募集について クラウドファンディングによる駅構内看板設置等費用の調達について クラウドファンディングにより資金調達が目標額に達しなかった場合の一般財源の支出について 							
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)	<ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングは実施確約報酬型での実施について 目標寄付金額及び寄付金受付期間と、北総線看板設置工事期間について 							
スケジュール	R3.7月～8月		副駅名募集					
	R3.9月		副駅名決定					
	R3.10月～12月		クラウドファンディングの実施					
	R4.1月		看板設置工事開始					
	R4.3月		副駅名の表示開始					
		項目	有無	方法(時期)	項目	有無	方法(時期)	
	条例規則	無		報道発表	有	定例記者会見(R3.8月)		
	議会説明	有	議員全員協議会(R3.3月)	広報・HP等	有	広報・HP・回覧(R3.7月)		
	市民参加	有	副駅名公募(R3.7月)					
	付議書公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input type="checkbox"/> 時限非 () まで						
参考情報	関係法令等							
	関係課	秘書課						
	事業費	未定 千円 (うち特定財源 0 千円)						
	カテゴリ	年代	全ての年代	場所	市内全域	目的	産業・雇用	手段

市制施行20周年に併せた北総線副駅名の募集について

白井市周辺には梨を主力産品として掲げる市が複数存在し、特に「市川市」、「船橋市」、「鎌ヶ谷市」については一定の収穫量を誇る産地であり、白井市同様に北総線沿線駅を持つ市である。

特に船橋市や鎌ヶ谷市は白井市に隣接する市であり、白井市独自のブランド化を図り、他市との差別化を図るため、北総線白井駅・西白井駅に副駅名を設置することにより、北総線利用者に「白井市＝梨」の印象付けを行い、白井市の農業振興を図る。

1. 副駅名とは

本来の駅名とは別に、通称（別称）として名付けられた名称。北総線では、現在4件の副駅名が設置されている。

なお、副駅名は北総線のホームページや路線図等への掲載はなく、副駅名が設置されている駅でしか確認することができない。

【副駅名設置駅及び副駅名】

- ・印旛日本医大駅：松虫姫
- ・大町駅：市川市動植物園
- ・松飛台駅：八柱霊園
- ・北国分駅：堀之内貝塚



2. 副駅名の設置条件

4 駅の副駅名設置経緯は、乗客率向上等の視点から北総鉄道(株)での設置やニュータウン事業内での駅造成に併せた設置で、他団体から設置要望があった場合の規則等はない。

他鉄道会社では副駅名のネーミングライツを行っているところがあるが、北総鉄道(株)では、現在のところ副駅名の掲載料などは請求していない。

白井市で設置する場合、設置の可否、費用等については、今後の協議による。

3. クラウドファンディングについて

クラウドファンディングとは、インターネットを通じて実現したいアイデアやプロジェクト（事業）を紹介して、その実現に共感・賛同した一般の人から広く資金を集める制度である。

資金調達方法には、達成時報酬型（寄付金額が目標額に達成した場合のみ実施）又は実施確約報酬型（寄付金額が目標額に達しなくても実施）の2種類がある。

4. クラウドファンディング実施方法について

契約事業者	(株)トラストバンク ※掲載サイト名「ふるさとチョイス」 ふるさと納税での利用実績あり 寄附者への返礼品の送付がふるさと納税と同様に可能		
資金調達方法	実施確約報酬型（寄付金額が目標額に達しなくても実施）		
募集期間	R3. 10月～12月（寄附受付期間上限3か月間）		
事業費	寄附金額が目標金額の〇〇円として算出		
	項目	算出方法	金額
	北総鉄道への負担金 (看板設置費)	北総鉄道の見積もりによる	〇〇円
	ふるさとチョイスプ ラン利用料	寄附金額の5%	〇〇円
	クレジットカード等 決済手数料	寄附金額の1～3.5%	〇〇円
	寄附金業務代行委託 料	寄附金額の6.5%	〇〇円
	返礼品代(送料込み)	寄附金額の40% (返礼品代30%、送料10%)	〇〇円
		合計	〇〇円
※予算内訳 産業振興課〇〇円、秘書課〇〇円			

寄附金目標額 と事業内容	寄附金目標額 〇〇円 事業内容 ①ホーム大看板（3か所6枚）、②駅入り口看板 ※目標額に達成しない場合でも事業実施
返礼品	梨（R4年産の先行予約）、自然薯、フライパン（リバーライト製） 北総線関連グッズ

5. 副駅名の募集について

- 市内小中学校児童生徒を対象に、「白井市＝梨」を連想できる副駅名を募集
（募集期間1～2か月間）
- 市内若手梨農家及び市職員による審査により決定
- 副駅名設置に併せて記念式典の開催・採用者への感謝状の授与